

令和5年度 第4回運動好きな児童生徒育成検討委員会（会議概要）

令和5年11月13日（月）13：15～16：30

県立ふじみ野高等学校

1 開会

2 挨拶（石川委員長）

- ・高等学校保健体育授業を参考に授業視察2回目となる

3 会議の進め方について

- ・前回会議までの確認
- ・授業視察について
- ・公開授業の進捗
- ・協議
- ・指導・講評

4 公開授業

- ・第2学年 陸上運動 運動場

5 内容

【分科会協議】A分科会、B分科会

(1) A分科会報告

- ・補強運動→互いに声をかけていた（BGMの活用がよかった）
- ・インターバルを変更できる場が用意されていた。
- ・ハードルリレー教材がよかった。→ハードルの特性（競争型）を味わいながら楽しんで取り組んでいた
- ・課題解決できる時間や場の準備を十分に確保する必要がある

(2) B分科会報告

- ・単元計画に陸上大会の運営や実施を設定し、それを学習のゴールに設定していた
- ・ICTの効果的な活用（自己の姿を見られる）
- ・再生アプリ（タブレット）について 4台目・5台目への設置を検討
- ・技能が高くできる生徒には声かけが多かった。技能低位の生徒への声かけが必要

6 指導・講評

埼玉大学教育学部教授 石川 泰成 委員長

- ・個から集団への学習過程の重要性について→高等学校でも通用することが分かった
- ・競争型と達成型を踏まえた教材づくり
- ・リーフレットを活用した単元計画作成にあたり、個別最適な学びと協働的な学びを踏まえたリレー教材がよかった
- ・ハードルなどの教具の工夫は生徒同士の対話を増やす
- ・学習内容は学習するうえでの課題となる。それをうけて学習活動はその課題をどうやってやるのかということを考えて活動することである。
- ・ハードル走の考え方 ①踏み切る前のことを考える②跳んだあとのこと（着地後）を考える
- ・高等学校は、そもそもが「科目体育」であるということ。広くスポーツとの関わり方も学ぶことが大切となる

7 諸連絡

- ・次回の持ち物
- ・本日の提出物

8 閉会 第五回 令和5年11月28日（火）新座市立東野小学校 13:15～ （予定）